

大豆の生育状況(水戸市)

地域名	品種	生育ステージ	対平年遅速	生育(作柄・品質)概況等	これまでに講じた対策 及び今後の方針
水 戸	里のほほえみ	収穫終了	3日遅い	1)気象概況:大豆生育期間(6月22日～10月31日) 生育期間を通じての平均気温は平年と比較して0.6℃低く、日照時間は平年比110%、降水量は平年比174%であった。時期別にみると、7月上旬は降雨が多く低温寡照、7月第4、第5半旬は降雨が少なく高温多照、8月第2、第3半旬は降雨がかなり多く、9月上旬は降雨が少なく低温寡照、10月は第1半旬を除いて降雨が少なかった(水戸地方気象台観測値。平年値は直近5ヶ年の平均値。別紙に図示)。 2)生育概況 ●里のほほえみ:平年と比較して、開花期は1日遅く、成熟期は3日遅かった。主茎長は短く、主茎節数は並、分枝数はやや少なく、茎の太さは細かった。全重はかなり軽く、結実莢数は少なく、粗子実重、精子実重はやや軽く、百粒重は並だった。 ●納豆小粒:平年と比較して、開花期は2日遅く、成熟期は4日遅かった。主茎長はやや短く、主茎節数は並、分枝数はかなり少なく、茎の太さは細かった。全重はかなり軽く、結実莢数はやや少なく、粗子実重はやや軽く、精子実重は軽く、百粒重は重かった。 両品種とも7月上旬の低温寡照により分枝数が少なく推移した。そのため、全重、結実莢数、子実重が平年より低い水準になったと推定される。	
	納豆小粒	収穫終了	4日遅い (成熟期による 生育遅速)		

表 畑における生育(水戸市 茨城県農総セ農研 作物研究室)

品種名	開花期			成熟期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	8.2	-1	+1	10.25	+4	+3	47	77	79	13.6	102	103	4.2	70	88	8.9	99	83
納豆小粒	8.10	0	+2	11.01	+6	+4	66	96	85	16.3	103	97	4.6	42	65	7.7	101	84

品種名	全重			結実莢数			粗子実重			精子実重			百粒重		
	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	64.0	78	66	46.7	74	79	35.2	76	90	33.5	73	89	41.8	115	104
納豆小粒	60.0	90	69	153.2	88	87	31.5	89	86	25.3	72	77	12.7	133	118

耕種概要 1)圃場(来歴):表層腐植質黒ボク土(輪換畑圃場1年目) 2)播種日:6月22日 3)栽植密度: 11.1株/m²(畦間60cm×株間15cm 1本立)
4)施肥量:N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.0-1.0kg/a 5)平年値:平成28～令和2年の結果の平均。 6)茎の太さ:第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の節間で測定。
7)全重:子葉節で切断した地上部の風乾重 8)精子実重:とうみ選・ロール選別後、大粒6.7mm、小粒4.2mmで篩ったもの。

令和3年半旬別気象経過図
(水戸地方気象台データを参考に作成。平年値は直近5年間の平均値。)

